

クラス	C109	担当教員	やまがみ としひこ 山上 俊彦
		人口減少・高齢化と社会保障制度について考える	
	著書・論文 研究課題等	著書・論文 「サーチ理論による雇用調整助成金の評価」日本福祉大学経済論集 2017 年 「サーチ理論と雇用保護立法(その1)(その2)」日本福祉大学経済論集 2016 年 「サーチ理論と賃金構造(その1)(その2)」日本福祉大学経済論集 2014 年 「サーチ理論と賃金格差」日本福祉大学経済論集 2012 年 「サーチ理論と均衡失業」日本福祉大学経済論集 2011 年 研究課題 労働市場における制度・慣習の経済分析 人口問題の経済分析(経済が人口に与える影響・人口が経済に与える影響)	
<h2>ゼミナール概要</h2>			
キーワード：人口減少、出生率、高齢化、日本経済、社会保障、若年雇用			
目的、内容、方法等： 日本の出生率は、1970 年頃から低下し続けている。その一方では医学の発達等により平均寿命は伸びている。そのため、日本は例のない速度で高齢化が進み、高齢社会を迎えることとなった。さらに、2005 年頃からは、遂に人口減少が始まった。 人口減少は経済の停滞を招き、地価や株価も下落するとされている。社会保障制度は、高齢者の増加と制度を支える若年層の減少により維持できない恐れが現実のものとなりつつある。現在の若者が高齢者となったときに、満足な年金や医療・介護サービスを受給できるのか不安視されている。 社会保障を補うための社会保障関連支出の増加は、過去の公共投資による財政赤字の累積と相俟って巨額の財政赤字をもたらし、消費税率の大幅な引き上げにつながっている。今後の社会保険料と税負担はさらに大きくなると考えられる。 しかし、本来、日本の潜在能力は高く、その能力を活用すれば明るい未来が描けるはずである。特に若年層の雇用環境の改善や教育訓練制度の整備は経済成長につながるはずである。 人口減少と高齢化は、今後の日本経済や社会保障制度にどのような影響を与えるのかを理論と実証の両面から考えてみたい。そして日本の社会保障制度を含めた政策、税制等はどうかを踏まえて将来の日本の姿を描いてみたい。			
授業計画(スケジュール)： 日本経済や社会保障制度を考える上での基礎知識を身に付けられるようにする。 経済分析においても必要な資料収集、統計処理等の基礎知識を身につけられるようにする。 仲間と協力しつつ自ら考えて解決策を提示するとともに、ゼミ発表や卒業研究の作成ができるようにする。 大学生として必要な教養、PC 操作能力を身につけられるようにする。 これら成果が就職につながるようにする。 2 年：日本経済や社会保障制度を考えるに当たって必要な経済や社会の基礎を勉強する。 3 年：具体的なテーマを設定して、共同で資料を準備し、議論し、とりまとめてゼミ発表会で発表する。 4 年：卒業研究の作成と就職活動の成功目的、内やまがみ容、方法等：			
テキストと参考書： 加藤久和(2016)『8000 万人社会の衝撃 地方消滅から日本消滅へ』(祥伝社) 吉川洋(2016)『人口と日本経済 - 長寿、イノベーション、経済成長』(中央公論新社) 鈴木亘(2011)『財政危機と社会保障』(講談社) 鈴木亘(2014)『社会保障亡国論』(講談社)			
概要に示した書籍から相談して決定します。	時間を集中的に活用できるのは学生時代のみですから、勉学とサークル活動に励んでください。読書の習慣を身に付けて下さい。専門書のみでなく、教養書や新書、文庫にも優れた書籍があります。また、毎日の新聞の政治、経済欄に目を通すことが必要です。また、学内の催し物等に積極的に参加して下さい。それが就職に成功する近道であり、その後の人生に役立ちます。		